

## 第18回 NPO 法人てくてく通常総会

○日時 2020(令和2)年6月6日(土)  
午前10時30分～午前11時30分

○場所 てくてく「みんなの家」2階 多目的室

○議事

第1号議案 2019(令和元)年度事業報告(案)

第2号議案 2019(令和元)年度決算報告(案)

監査報告

第3号議案 2020(令和2)年度事業計画(案)

第4号議案 2020(令和2)年度収支予算(案)

第5号議案 役員改選(案)

その他

## 2019（令和元）年度 事業報告（案）

### I. 全体を通して

2019（令和元）年度も各事業（あっとホーム、にこりん、あっとハック、ぱれっと）による支援を中心に、法人全体行事や「みんなの交流会」などを実施した。（活動の詳細については別表を参照。）

法人全体の事業収支としては、要件が整わず処遇改善加算Ⅰの取得が出来なかったこと、人材不足により提供できる支援の量的な減少傾向により収入が予算額に届かなかったことに加え、法令に基づいた人件費の取り扱い（超過勤務割増し賃金、休憩時間）の見直しと過去の未払い分（およそ300万円）の支払い、あっとホームでの加算の過去誤請求分の返金（およそ870万円）等が重なり、さらに年度の終盤には新型コロナウイルス感染拡大により、ガイドヘルプを中心に支援の提供が困難な状況も追い打ちとなり（にこりん・あっとハックいちもんばしで前年同月比約90万円の減収）、法人設立以来の大幅な赤字決算となった。（運営の詳細については決算報告書を参照。）

地域で暮らす障がいのある人たちの暮らしを支えていくために提供できる支援を拡充することが、結果として事業費収入の確保に繋がることになるが、そのためには人材の確保・育成が不可欠であり、各事業共通の重点課題として法人を上げて取り組んでいかなければならない。

以下、昨年度事業計画での「重点課題」各項目について、詳細を述べる。

### II. 「重点課題」に対する評価

#### 1. 「人材確保・育成を引き続き今年度の最重点課題と位置づけ、法人全体で取り組む。」について

引き続きインターネットによる採用情報の発信やパンフレット等求職者への情報提供の仕組みを活用し、昨年3月～5月にかけて各種就職フェア等に参加した。結果として3月のフェアで女性2名、5月のフェアで男性1名の内定者を確保することができた。以降、内定者を入職まで繋げるためにイベント参加や研修を実施した。いずれも「てくてく」として初めての試みであり手探りで研修であったが、3名とも今年度4月の入職へつなげることが出来た。

#### 2. 「てくてく「中長期計画」の策定を進める」について

一昨年度実施した関係者アンケートの結果や各事業の現状と課題、各市町の福祉計画等を踏まえ、職員によるプロジェクトチームを中心に検討のための素案を策定し、メンバー・家族、登録スタッフ、役員、職員等「てくてく」に関わる様々な立場に呼びかけて立ち上げた「中長期計画策定検討会議」（9月と12月に開催）に提案し、検討を行った。引き続き3月にも会議を予定していたが新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえ、中長期計画検討の動き自体を一旦中断することとした。これまでの検討で整理をしてきた課題を踏まえた上で、今後の社会情勢を見ながらスケジュールを立て直し、検討再開の時期を見極めたいと考えている。

#### 3. 「あっとホーム」の「建て貸し方式」による移転を進める。

1件はオーナー様と積水ハウスとの間で具体的な話し合いの場を持ち、契約・土地の測量の実施まで進めることができた。平行してホーム図面等の検討にも少しずつ着手している。着工までにはまだ時間

## 第1号議案

がかかるが、その間どのようなホームとしていくのか、検討を進めていきたい。

一方、その他に建築検討をされているオーナー情報の提供はなく、見通しが立っていない状況である。

### 4. 「各事業の支援を継続して実施する。」について

登録スタッフ（ヘルパー・世話人・支援員）の確保・育成について、各事業共通の課題として年度を通して取り組んできた。あっとホームでは近隣地域を中心としたチラシ配付や学校への情報発信、現スタッフの個別のネットワークなどにより、学生や地域の主婦の方、他事業所での経験のある方など、様々な層の方が新たに支援に入っていただくことができたが、一方で卒業等により退職された方もおられ、量的な側面で拡充できたとは言えない状況である。

資格要件のある支援（ヘルパー派遣）において、ニーズに合わせた支援の提供が困難な状況を改善するため、必要な研修（強度行動障害従事者、重度訪問介護従事者、移動支援従事者の養成研修等）への受講の促進に取り組み、新たな支援者確保に努めてきた。

新規利用希望について、にこりんやあっとハックで若干受け入れができたケースはあるが、マンパワー不足の中で地域のニーズに十分応えられる状況ではない。新たなニーズに応える事が法人の運営状況改善に繋がることも念頭に、引き続き登録スタッフの確保について、重点課題として取り組む必要がある。

### 5. 「『より良い支援』を目指して、研修を充実させる。」について

メンバー個々の障がい特性やニーズに応じた支援に必要な知識・技術を高めるため、専門的な機関・団体（自閉症eサービス、医療的ケアネット等）が開催する研修会への参加をした。

「全体研修」は「障がい者虐待防止の取り組みについて～よりよい支援を目指して～」をテーマに2月に開催。「拡大版登録スタッフ研修会」は今年度も乙訓障害者支援事業所連絡協議会（乙障協）主催の「事業所職員交流会」への参加をもってこれに当て、他法人の様々な種別の事業所で働くスタッフの方々との情報や意見交換を通して有意義な学びの場となった。フォーラムは開催できていない。

### 6. 「乙訓圏域や全国の情勢・制度の動向について情報を収集するとともに「てくてく」からの課題の発信を行います。」について

乙訓圏域障がい者自立支援協議会や乙訓障害者支援事業所連絡協議会（乙障協）等、乙訓圏域でのネットワークに積極的に関わり、情報収集や課題発信に努めてきた。

広報としては春・秋の通信やホームページ、フェイスブックページの活用により、「てくてく」での活動の様子を発信できるよう心がけた。年度後半からホームページの更新がなかなか出来ておらず、タイムリーな発信という面で課題となっている。

以上

2. 事業及び活動の実施状況

事業名	サービス種別	利用実績	給付費収入 (単位：円)	実施期間・時期	場所	受益対象者の 範囲及び人数	
にこりん	居宅介護	延べ7,736人 延べ7014.5時間	40,146,411	平成31年4月～ 令和2年3月	乙訓地域 及び京都市 (桂川西岸地域) ※日帰りができる範囲	利用者 71名	職員・登録 スタッフ 54名
	重度訪問介護	延べ2,774人 延べ6900.5時間	21,348,361				
	行動援護	延べ432人 延べ1750.5時間	7,204,449				
	移動支援	延べ516人 延べ1994.75時間	4,118,654				
	入院時コミュニケーション支援	利用無し	0				
	緊急一時保護事業	利用無し	0				
あっとホーム どんぐり ジャンプ つばさ 翔 たんぼぼ城の里	共同生活援助事業	延べ6,600人	56,216,369	平成31年4月～ 令和2年3月	長岡京市井ノ内	女性5名	職員・登録 スタッフ 58名
				平成31年4月～ 令和2年3月	大山崎町高麗田	男性4名	
				平成31年4月～ 令和2年3月	向日市上植野町	女性4名	
				平成31年4月～ 令和2年3月	長岡京市今里	男性4名	
				平成31年4月～ 令和2年3月	長岡京市城の里	女性4名 (体験利用1名)	
あっとハック いちもんばし	短期入所事業	延べ727人	8,031,116	平成31年4月～ 令和2年3月	長岡京市一文橋 (みんなの家1階)	利用者41名	職員・登録 スタッフ 20名
	緊急一時保護事業	0人	0	平成31年4月～ 令和2年3月	長岡京市一文橋 (みんなの家1階)	利用無し	職員・登録 スタッフ 20名
あっとハック しろのさと	短期入所事業	延べ123人	1,511,935	平成31年4月～ 令和2年3月	長岡京市城の里 (あっとホーム たんぼぼ城の里内)	利用者4名	職員・登録 スタッフ 12名
ばれっと	相談支援事業	延べ65人	926,032	平成31年4月～ 令和2年3月	乙訓地域及び京都市 (西京区)	利用者14名	
収益事業	賃貸事業	12ヶ月	1,440,000	平成31年4月～ 令和2年3月	向日市上植野町	女性4名	
	私費利用	延べ108人 延べ132時間	296,500	平成31年4月～ 令和2年3月	乙訓地域及び京都市 (桂川西岸地域) ※日帰りができる範囲	男性1名 女性3名	

事業及び活動名	内容	実施期間・時期	場所	受益対象者の 範囲及び人数	
コロぼっくる	地域力 活性 プロ シエ クト	みんなの交流会（バーベキュー）	平成31年4月13日	みんなの家	参加者18名
		みんなの交流会（カステラ作り）	令和元年7月6日	みんなの家	参加者23名
		みんなの交流会（ぼたろう祭り準備）	令和元年9月28日	みんなの家	参加者36名
		みんなの交流会（ウォーキング）	令和元年11月16日	みんなの家	参加者11名
		みんなの交流会（カードゲーム）	令和元年12月14日	みんなの家	参加者9名
	バンド	音	令和元年6月	長岡京市産業文化会館	メンバー 3名 ボランティア 2名
親睦活動	つな ぐ フ ロ シ エ ク ト	ぼたろう祭り	令和2年10月	みんなの家	約100名
		たまぼっくる	令和2年2月	洛西エミナース	開催中止
研修会	てくてく全体研修会		令和2年2月	向日市福祉会館	登録スタッフ・職員・家族 計43名
	てくてくフォーラム		未実施		
	登録スタッフ研修会		令和元年12月	長岡京市中央公民館	登録スタッフ・職員 計12名
	ヘルパー研修会		毎月開催	みんなの家	登録スタッフ・職員 計139名
	あっとホームスタッフ研修会		毎月開催	各グループホーム みんなの家	登録スタッフ・職員 計403名

# 2019（令和元）年度 決算報告（案）

第 17 期

自 2019（平成31）年 4月 1日  
至 2020（令和 2）年 3月31日

特定非営利活動法人 てくてく

京都府長岡京市一文橋2丁目25-26

## 部門別実績収支報告書

単位：円

## 収入の部

区分 科目	NPO法人てくてく							
	法人	にこりん	あつとホーム	あつとハックしろのさと	あつとハックいちもんぼし	ばれつと	収益事業	合計
事業収入	-	73,084,024	60,116,369	1,631,835	8,819,816	926,032	1,736,500	146,314,576
給付費収入	-	73,071,304	56,216,369	1,511,935	8,031,116	926,032	-	139,756,756
緊急一時	-	-	-	-	-	-	-	-
サービス利用料収入	-	12,720	-	71,400	433,000	-	-	517,120
私費サービス利用収入	-	-	-	-	-	-	296,500	296,500
給食費収入	-	-	-	48,500	355,700	-	-	404,200
家賃収入	-	-	3,900,000	-	-	-	1,440,000	5,340,000
補助金収入	30,000	-	-	-	-	-	-	30,000
会費収入	35,000	-	-	-	-	-	37,000	72,000
寄付金収入	145,300	-	-	-	-	-	-	145,300
事業外収入	75,033	7,800	15,150	-	-	3,000	58	101,041
受取利息	65,033	-	-	-	-	-	58	65,091
雑収入	10,000	7,800	15,150	-	-	3,000	-	35,950
収入合計	285,333	73,091,824	60,131,519	1,631,835	8,819,816	929,032	1,773,558	146,662,917

## 支出の部

区分 科目	NPO法人てくてく							
	法人	にこりん	あつとホーム	あつとハックしろのさと	あつとハックいちもんぼし	ばれつと	収益事業	合計
人件費	5,783,895	46,170,705	44,775,785	436,011	14,468,215	4,149,158	589,386	116,373,155
退職金掛金	-	480,000	360,000	-	240,000	-	-	1,080,000
法定福利費	659,340	3,835,826	3,290,127	44,281	1,916,352	645,163	59,858	10,450,947
管理費	1,400,472	1,441,683	854,574	75,150	825,827	522,540	556,952	5,677,198
地代家賃	120,000	360,000	3,240,000	120,000	960,000	120,000	240,000	5,160,000
保険料	568,373	491,467	235,573	3,273	210,915	35,210	30,480	1,575,291
減価償却費	3,565,962	311,043	2,100,790	-	661,975	-	254,038	6,893,808
リース減価償却費	-	272,160	-	-	-	-	-	272,160
食材仕入れ	-	-	-	44,900	302,770	-	-	347,670
活動費	50,473	-	-	-	-	-	-	50,473
研修費	129,103	691,040	411,200	1,000	1,800	4,320	-	1,238,463
委託契約料	1,385,220	33,000	100,800	4,800	14,400	-	54,000	1,592,220
企画調査費	-	-	-	-	-	-	-	-
修繕費	320,848	361,783	689,394	-	422,100	12,804	3,304	1,810,233
求人活動費	1,540,784	-	-	-	-	-	-	1,540,784
固定資産除却損	1	-	2	-	-	-	-	3
前期損益修正損	-	-	8,712,866	-	-	-	-	8,712,866
支出合計B	15,524,471	54,448,707	64,771,111	729,415	20,024,354	5,489,195	1,788,018	162,775,271
過不足額A-B	-15,239,138	18,643,117	-4,639,592	902,420	-11,204,538	-4,560,163	-14,460	-16,112,354

## 貸借対照表

令和 2年 3月31日現在

(税込)  
(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>【流動資産】</b>		<b>【流動負債】</b>	
(現金・預金)		未払金	12,448,517
現金	117,675	前受金	405,000
普通預金	124,730,258	預り金	19,069
定期預金	34,504,184	流動負債計	12,872,586
現金・預金計	159,352,117	<b>【固定負債】</b>	
(有価証券)		預り保証金	400,000
有価証券	10,000,000	リース負債	1,179,360
有価証券計	10,000,000	固定負債計	1,579,360
(その他流動資産)		<b>負債の部合計</b>	<b>14,451,946</b>
前払費用	1,240,256	<b>資 本 の 部</b>	
未収収益	22,436,827	<b>【資本金】</b>	
立替金	520,000	資本金計	0
差入保証金	7,600	<b>【正味財産の部】</b>	
その他流動資産計	24,204,683	繰越正味財産	273,791,958
流動資産合計	193,556,800	(当期正味財産増加額)	△16,112,354
<b>【固定資産】</b>		正味財産計	273,791,958
(有形固定資産)		<b>資本の部合計</b>	<b>273,791,958</b>
建物	59,162,478		
造作	5,591,434		
建物付属設備	55,656,853		
構築物	5,134,199		
車両運搬具	4,207,685		
工具器具備品	9,385,243		
減価償却累計額	△57,472,080		
土地	11,841,932		
リース資産	1,179,360		
有形固定資産計	94,687,104		
固定資産合計	94,687,104		
<b>資産の部合計</b>	<b>288,243,904</b>	<b>負債・資本の部合計</b>	<b>288,243,904</b>

## 損 益 計 算 書

自 平成31年 4月 1日  
至 令和 2年 3月31日

(税込)  
(単位：円)

### 《経常損益の部》

[営業損益の部]

【売上高】

給付費収入	139,756,756
利用者負担収入	813,620
給食費収入	404,200
助成金収入	30,000
寄付金収入	145,300
会費収入	72,000
家賃収入	5,340,000
売上高 計	

146,561,876

【売上原価】

期首商品・製品棚卸高	0
仕入高	347,670
当期商品仕入高	347,670
合 計	347,670
期末商品・製品棚卸高	0

売上原価 計

347,670

売上総利益

146,214,206

【販売費一般管理費】

販売費・一般管理費計	153,714,732
------------	-------------

営業利益

△7,500,526

[営業外損益の部]

【営業外収益】

受取 利息	65,091
雑 収 入	35,950
営業外収益 計	101,041

【営業外費用】

営業外費用 計	0
---------	---

経常利益

△7,399,485

### 《特別損益の部》

【特別利益】

特別利益 計	0
--------	---

【特別損失】

固定資産除却損	3
前期損益修正損	8,712,866
特別損失 計	8,712,869

当期収支差額

△16,112,354

当期収支差額

△16,112,354

前期繰越収支差額

289,904,312

次期繰越収支差額

273,791,958

NPO法人てくてくの令和元年度（平成31年4月1日から令和2年3月31日）の財産目録・貸借対照表及び収支計算書について以上のとおり報告いたします。


令和2年4月22日

理事長 尾瀬 順次 

監査の結果、いずれも報告書のとおり相違ありません。

令和2年4月22日

監事 今井 千代子 

監事 竹田 美津子 

## 2020（令和2）年度 事業計画（案）

### I. 全体を通して

昨年度重点課題に基づいた人材確保の取り組みによって、3名の新規採用職員を迎えての年度となる。マンパワーの確保により提供できる支援を拡充していくことが、メンバーや家族のニーズに応えると同時に法人の安定的な運営に繋がること、また将来的に法人の活動を継続していくためにより若い世代への引き継ぎが不可欠であることを踏まえ、当面はその育成期間として位置づけ取り組んでいく必要がある。

一方で昨年度末からの新型コロナウイルス感染拡大による運営面への影響は、ガイドヘルプを中心に支援提供困難・減収という形ですでに現れている。障害のある人への福祉サービスは「利用者の方々やその家族の生活を継続する上で欠かせないものであり、十分な感染防止対策を前提として、利用者に対して必要な各種サービスが継続的に提供されることが重要」と国からも示されている通り、今後も「てくてく」の各事業を継続して実施できるよう努めることに変わりはないが、今年度の事業計画及び予算について、新型コロナウイルス禍による影響を避けることは出来ず、その中で計画立てになることをご了解いただきたい。

### II. 今年度の取り組みにおける重点課題

1. 新型コロナウイルス禍での財政面への影響を踏まえ、支出の削減及び資金の確保のためにできる限りの対応を行う。

- 理事長・本部長給与の当面の間削減（基本給引き下げ（18号俸→1号俸）及び手当の見直し（一部廃止）による）する。（一年間実施すると約200万円の削減）
- 正規職員の「働き方」の見直し、フレックスタイム制の導入により、残業時間の削減に努める。
- 処遇改善加算Ⅰを取得する。
- 各種助成金等の情報を収集し、可能なものは活用する。
- （「重点課題2」とあわせ）職員育成及び登録スタッフ確保・育成を進め、提供できる支援を拡充することにより、収入増をめざす。

2. 人材確保・育成を引き続き最重点課題と位置づけ、法人全体で取り組む。

- てくてくキャリアパス制度を踏まえ、新人・中堅・管理者それぞれのレベルでのスキルアップをめざし、個別の計画に基づく職員育成（研修・面談等）を実施する。
- 特に新任職員の育成について、まずはメンバー支援にかかるスキルの獲得を中心に研修を進める。
- 登録スタッフ（ヘルパー・世話人・支援員）の確保に向けて、「てくてく」全体で取り組む。資格要件のある支援にかかる研修受講を進める。

### 第3号議案

3. 「あっとホーム」の「建て貸し方式」による移転を進める。
  - 関係機関・事業者と連携を取り、情報収集と検討を行う。
  - 2022(令和4)年度末迄には、少なくとも一箇所以上の新規ホームへの移転を目指して取り組む。
4. てくてく「中長期計画」の策定について。
  - 新型コロナウイルスの影響を踏まえ、いったん策定の検討を中断する。
  - 事態が収束し法人運営への影響を見極めた上で、あらためて今後の検討スケジュールを立て直す。
5. 各事業の支援を継続して実施する。
  - 新型コロナウイルスにかかる国の「利用者に対して必要な各種サービスが継続的に提供されることが重要」という方針を踏まえ、提供困難なものを除き、可能な限り実施する。
  - 事業を安定的に継続させるために、加算や補助金等を最大限活用する。
  - 相談支援を継続していくための支援員体制のあり方と確保の方法について検討する。
  - 新規の利用希望については、相談支援等関係機関との連携を基に緊急性・必要性を把握し、支援体制の確保状況を踏まえて可能な限り対応する。
  - 「強度行動障害支援者養成研修」「相談支援従事者研修」「サービス管理責任者等研修」「虐待防止・権利擁護研修」等、事業実施に必要な研修の受講を進める。
6. 「より良い支援」を目指して、研修を充実させる。
  - 専門的な機関・団体等（自閉症eサービス、医療的ケアネット等）との連携により、個々の障がい特性やニーズに応じた支援に必要な知識・技術を高めるための研修を実施する。
  - 「フォーラム」「全体研修」「拡大版登録スタッフ研修」については、新型コロナウイルスにかかる状況を見ながら、可能な範囲で実施する。
  - 個別の職員育成・研修計画の策定と、計画に基づく研修と評価を実施する。
7. 乙訓圏域や全国の情勢・制度の動向について情報を収集するとともに「てくてく」からの課題の発信を行う。
  - 乙訓圏域で「てくてく」に期待される役割に応え、主体的に参画する。
  - インターネット・紙媒体それぞれの特性を活かし、広報活動を積極的に行う。
  - 全国の障がい福祉関係団体等との連携を図り、情報収集を行う。

以上

2. 事業計画及び活動の実施予定

事業名	サービス種別	目標数値	給付費予定額 (単位：千円)	実施期間・時期	場所	受益対象者の 範囲及び人数	
にこりん	居宅介護	延べ8,100人 延べ7,100時間	54,024	令和2年4月～ 令和3年3月	乙訓地域 及び京都市 (桂川西岸地域) ※日帰りができる範囲	利用者 71名	職員・登録 スタッフ 60名
	重度訪問介護	延べ2,900人 延べ7,000時間	28,493				
	行動援護	延べ225人 延べ900時間	4,808				
	移動支援	延べ300人 延べ1,100時間	2,059				
	入院時 コミュニケーション支援	予定無し	0				
あっとホーム どんぐり ジャンプ つばさ 翔 たんぼぼ城の里	共同生活援助事業	延べ6,744人	56,676	令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市井ノ内	女性5名	職員・登録 スタッフ 60名
				令和2年4月～ 令和3年3月	大山崎町高麗田	男性4名	
				令和2年4月～ 令和3年3月	向日市上植野町	女性4名	
				令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市今里	男性4名	
				令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市城の里	女性4名 (体験利用1名)	
あっとハック いちもんぼし	短期入所事業	延べ900人	10,242	令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市一文橋 (みんなの家1階)	利用者45名	職員・登録 スタッフ 25名
	緊急一時保護事業	—	—	令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市一文橋 (みんなの家1階)	利用者0名	職員・登録 スタッフ 25名
あっとハック しろのさと	短期入所事業	延べ144人	1,789	令和2年4月～ 令和3年3月	長岡京市城の里 (あっとホーム たんぼぼ城の里内)	女性6名	職員・登録 スタッフ 15名
ばれっと	相談支援事業	延べ40件	1,010	令和2年4月～ 令和3年3月	乙訓地域及び京都市 (西京区)	利用者14名	
収益事業	貸貸事業	12か月	1,440	令和2年4月～ 令和3年3月	向日市上植野町	女性4名	
	私費利用	延べ68人 延べ138時間	356	令和2年4月～ 令和3年3月	乙訓地域及び京都市 (桂川西岸地域) ※日帰りができる範囲	男性1名 女性3名	

活動名	内容		実施期間・時期	場所	受益対象者の 範囲及び人数
地域力活性隊 コロぼっくる	ブ地 口域 トジカ エ活 ク性	みんなの交流会（温泉、ほたろう祭り準備、他）		みんなの家 他	メンバー ボランティア
	バンド	音	令和3年1月	ホテルエミナス	メンバー ボランティア
親睦活動	プロジェクトつなく	ほたろう祭り	令和2年10月	みんなの家	利用者・家族・関係者 登録スタッフ・職員・近隣住民
		たまぼっくる	令和3年1月	洛西エミナス	利用者・家族 登録スタッフ・職員
研修会	てくてく全体研修会		令和3年2月	バンピオ	登録スタッフ・職員・家族
	てくてくフォーラム		令和2年9月	長岡京市産業文化会館	メンバー・家族・外部 登録スタッフ・職員
	登録スタッフ研修会		令和2年12月頃	バンピオ	登録スタッフ・職員
	ヘルパー研修会		毎月開催	みんなの家	登録スタッフ・職員
	あっとホーム世話人研修会		毎月開催	各グループホーム みんなの家	登録スタッフ・職員

令和2年度（2020年度）収支予算（案）について

収入の部

単位：千円

科目	区分	NPO法人てくてく						収益事業	合 計
		法人	にこりん	あつとホーム	あつとハック (しろのさと)	あつとハック (いちもんぼし)	ばれっと		
事業収入		-	89,386	63,036	1,925	11,203	1,010	1,796	168,356
給付費収入			89,386	56,676	1,789	10,242	1,010		159,103
サービス利用料				-	86	511			597
給食費収入					50	450			500
私費サービス料								356	356
家賃収入				6,360				1,440	7,800
会費収入		34						48	82
		-							-
寄付金収入		100							100
事業外収入		65	5					1	71
受取利息		65						1	66
収入合計A		199	89,391	63,036	1,925	11,203	1,010	1,845	168,609

支出の部

科目	区分	NPO法人てくてく						収益事業	合 計
		法人	にこりん	あつとホーム	あつとハック (しろのさと)	あつとハック (いちもんぼし)	ばれっと		
人件費		4,686	55,154	50,879	687	12,372	3,029	600	127,407
退職金掛金		-	580	480	-	240	-	-	1,300
法定福利費		522	4,742	2,975	2	1,565	494	2	10,302
管理費		1,707	1,974	1,062	106	867	714	554	6,984
地代家賃		120	360	5,280	120	960	120	240	7,200
保険料		573	566	219	23	234	6	33	1,654
リース減価償却費		-	281	-	-	-	-	-	281
減価償却費		3,181	91	1,736	-	558	-	525	6,091
食材仕入		-	-	-	50	450	-	-	500
活動費		207	-	-	-	-	-	-	207
研修費		200	679	518	50	50	20	-	1,517
委託契約料		1,532	32	101	75	14	-	54	1,808
求人活動費		50	-	-	-	-	-	-	50
企画調査費		100	-	-	-	-	-	-	100
修繕費		50	236	842	20	530	-	50	1,728
支出合計B		12,928	64,695	64,092	1,133	17,840	4,383	2,058	167,129

過不足額A-B	-12,729	24,696	-1,056	792	-6,637	-3,373	-213	1,480
---------	---------	--------	--------	-----	--------	--------	------	-------

## 役員改選（案）

2020年6月6日現在

### 第10期役員

2020年7月1日～2022年6月30日

(五十音順・敬称略)

	氏名	備考
理事	尾瀬 順次	
理事	木下 博史	
理事	中西 正人	
理事	中根 成寿	
理事	中野 史子	
理事	中矢 裕紀子	
理事	三宅 義貞	
監事	今井千代子	
監事	竹田美津子	

# 家族会

# メンバー

# 後援会

## 相談支援事業所 ぱれっと

事業長・相談支援員  
尾瀬 順次

共同生活援助事業  
**あっとホーム**  
事業長：柴山岳博  
(中矢裕紀子：5月～産休・育休)  
副事業長：奥田 陽  
事務：新村千鶴  
ホーム長  
どんぐり：中矢裕紀子  
(休暇中代行：尾瀬友理子)  
ジャンプ：柴山岳博  
つばさ：尾瀬友理子  
翔：奥田陽  
たんぽぽ：尾瀬友理子  
(補佐：山内啓)

## 居宅介護事業所 にこりん

事業長：岡本義隆  
副事業長：高橋優子  
事務：岸田記代

## 短期入所事業所 あっとハック

事業長：尾瀬友理子  
(しろのさと担当)  
岡井伸行  
(いちもんばし担当)  
副事業長：草川達也

## 地域力活性隊 コロぼっくる

みんなの交流会  
行事毎に分担

【行事】  
ぼたろう祭  
奥田・山内・尾瀬友・藤井  
球ぼっくる  
高橋・岡井・薮下  
【研修】  
登録S研修：事業長  
フォーラム：柴山・岡本  
全体研修会：奥田・草川  
【通信】  
秋号：高橋・岡井  
春号：柴山・岡本・北村

新職員：北村真歩、薮下葵、藤井芳（研修として各事業・活動にかかわる）

**事務部** 事務長：中矢裕紀子（休暇中：事業長で業務分担） 事務：久保田厚子、中野弘子

**事業統括本部** 本部長：尾瀬順次 本部長補佐：吉川正義

**理事会** 理事長：尾瀬順次 副理事長：中西正人、中根成寿  
理事：木下博史、中野史子、中矢裕紀子、三宅義貞 監事：今井千代子、竹田美津子 事務局：吉川正義

# 総会

# NPO 法人てくてく

## 「てくてく」が「めざすもの」(理念)

### 「てくてく」として「大切にしていきたいこと」(基本方針)

2015年 6月 6日策定

#### ○「てくてく」が「めざすもの」

「てくてく」は「誰もが住み慣れた地域で、いきいきと自分らしく暮らし続けることができる街づくり」をめざします。

#### ○「てくてく」として「大切にしていきたいこと」

「てくてく」は「めざすもの」の実現に向かって、下記のことを大切にしながら取り組みを進めていきます。

- ① メンバー一人ひとりが「生活の主体・主人公」として、「その人らしい自立生活」「望む暮らし」を実現できるよう、常にメンバーの思いに寄り添いながら支援します。
- ② メンバーが一人の住民として、どんなしょうがいがあっても当たり前前に暮らしていける地域作りに向けて取り組みます。
- ③ 家族やかかわる方々との連携を大切に、メンバー一人ひとりの暮らしを支える「人の輪」をつくります。
- ④ メンバーと共にあることを通して「てくてく」に集い働くすべての人たちが、皆楽しく生き生き過ごせるよう取り組みます。
- ⑤ 制度を活用しつつ、制度の枠にとらわれない自由な発想で活動を展開します。
- ⑥ 地域に向けて常に情報や課題を発信し、様々な人たちとの協働を通して、しょうがいのある人たちを「地域で支える力」の向上に貢献します。